

第3表 健康診断受診率

	総 数	受 検 者	受 診 率
小 学 校	10,400	10,110	97.2%
中 学 校	5,341	5,186	97.1%
高 等 学 校	3,250	3,176	97.2%
盲 聾 学 校	138	137	99.3%
事 務 局	189	186	98.4%
合 計	19,318	18,795	97.3%

休職者数（結核による）は昭和29年度におけるよりは、33年度においては約2分の1に減少している。34年3月現在における休職者は174人、このうち小学105人、中学校42人、高等学校27人で割合は大体教職員数と比例しているが、各学校別教職員数に對

する百分比は小学校0.9%、中学校1.11%、高等学校1.28%となっており高等学校教員に比較的休職者が多い。

結核審査会は毎月1回開催され、結核管理の適正を期している。このため新規採用者の発病や復職者の再発はほとんどみられない。また早期発見、治療を行うため休職者や療養者に重篤な症状の者がなくなった。

（教員）結核の数は上述のように減少の一途をたどっているが、最近著しい増加を来しているものに、ノイローゼ（神経症）精神分裂症、躁鬱症等の精神病の疾病がある。これは全国的な傾向であり、今後この方面の対策が要求されるものと思惟される。

第4表 昭和33年度結核審査会件数

区分 日月 回数	復 職				採 用				そ の 他	計	累 計	備 考
	可	不可	保留	計	可	不可	保留	計				
1 33. 4.22	4	2	1	7	1	2	—	3	—	10	10	
2 33. 5.21	4	1	—	5	—	—	—	—	特別身体検査 4	9	19	
3 33. 7. 9	3	1	3	7	—	—	—	—	—	7	26	
4 33. 8.15	8	—	—	8	—	—	—	—	—	8	34	（県立若松病院にて開催）
5 33. 9.24	5	1	—	6	—	—	—	—	—	6	40	
6 33.10.22	5	—	1	6	—	1	—	1	療休 2	9	49	
7 33.11.26	5	1	1	7	2	3	—	5	療休 1	13	62	
8 33.12.23	1	—	—	1	—	—	1	1	特別身体検査 2	4	66	
9 34. 1.21	7	1	1	9	1	—	—	1	特別身体検査 2	14	80	
10 34. 2.18	16	—	4	20	—	—	—	—	特別身体検査 4	22	102	
11 34. 3.18	11	4	3	18	1	1	5	7	特別身体検査 2	25	127	
計	69	11	14	94	5	7	6	18	15	127	—	

昭和33年度教職員特別身体検査による有所見者の面接指導は表5に示されるごとく実施され結核およびその他の疾病をも含め教職員の発病予防または再発を主眼として日常生活および勤務に関する指導を行った。

県内小・中学校の保健体育科学習指導の振興策については、従来県内数カ所で実技講習会を開催してきたが、とかく不徹底がちとなり、末端まで行届かない傾向にあったので、これを改め出張所単位の地域に分けて講習会を開くことができるようにするため、各出張所から有能者を参加させてこれが養成をはかり、終了後は各地区において指導伝達の任に当ることとしたのが本講座の趣旨である。

第5表 結核教職員面接指導実施状況

月 日	場 所	指導した人員	指 導 者
年月日 33.11.28.29	会津若松市講教小学校	49	名 県教委事務局 保健体育課
33.12. 4. 5	郡山市橋小学校	58	技師 猪野登喜子
33.12. 8. 9	原町市原町第二小学校 平市平第一小学校	26 17	
33.12.12.13	福島市県教委 信夫出張所	59	
計		207	

- a 期日 4月26日より28日まで
- b 場所 福島大学学芸学部  
福島農蚕高等学校  
福島女子高等学校
- c 参加者 各出張所より10名ずつ  
計160名、（陸上2名、球技4名、体操2名、ダンス2名）
- d 内 容 体育理論、徒手体操、集団行動、陸上、体操、球技、ダンス
- e 講 師 福島大学学芸学部教授  
佐々木等 外20名
- f 研修法 徒手体操、集団行動は全員履習。陸上

## 4. 学校体育

### A 学校体育指導者養成講座